

モジャコ情報 (令和2年3月調査結果)

調査期間：令和2年3月2～7日

鹿児島県水産技術開発センター

調査船：おおすみ 67t

令和2年3月11日発行

調査海域：大隅・種子島・屋久島・南薩・西薩

【海況】・・・“やや高め”から“かなり高め”

- ・黒潮北縁域は、2月29日には屋久島御崎の北4.3マイルにあったが、3月3日に竹島の北8.1マイルまで北上した後に大きく南下し、3月7日には平瀬の北2.6マイルにあった。
- ・定期船観測による3月上旬の各海域の平均水温は、黒潮流域で23.0℃（かなり高め）、薩南海域で21.0℃（かなり高め）、西薩海域で18.3℃（やや高め）であった。

※1 平年値は、昭和56年から平成22年までの平均値。

【調査結果】

(1) 流れ藻の分布・・・去年同期，平年同期より少ない

- ・流れ藻の視認個数は10.5個／10マイルで、去年同期（179.2個／10マイル）より少なかった。また、平年同期（303.4個／10マイル）より少なかった。
- ・採集した流れ藻重量は0.2～13.7kg（平均3.8kg）で、去年同期1.0～6.5kg（平均3.2kg）より大型の藻であった。

(2) モジャコの付着状況・・・去年同期，平年同期より多い

- ・流れ藻1kg当たりの付着尾数は37.6尾で、去年同期（4.3尾）より多かった。また、平年同期（4.5尾）より多かった。
- ・モジャコ以外の雑魚はマアジ、カンパチなどであった。

(3) モジャコの大きさ・・・去年同期，平年同期より小さい

- ・採捕したモジャコの全長は平均36.8mmで、去年同期（60.2mm）より小型であった。また、平年同期（45.2mm）より小型であった。

※2 平年とは平成21年から平成30年までの3月の平均値。

表1 海況及びモジャコの付着状況(3月)

調査項目	海 域	令和2年	平成31年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	過去5年平均	平年値
流れ藻視認個数 (10マイル当たり)	大隅	5.3	0.8	120.0	48.0	101.7	211.0	96.3	56.0
	種子島	6.9	43.7	200.0	226.5	370.2	833.8	334.8	205.9
	屋久島	21.3	516.5	1,124.6	69.0	598.5	1,212.0	704.1	460.3
	南薩	9.4	7.1	1,042.5	547.5	122.2	1,077.2	559.3	296.1
	西薩	0.8	1.2	809.9	136.0	102.8	1,544.0	518.8	264.4
	平均(全海域)	10.5	179.2	815.4	230.3	275.2	1,125.9	525.2	303.4
流れ藻1kg当たりの モジャコ付着尾数	大隅	15.2		0.3	1.4	8.4	0.4	2.6	16.9
	種子島		7.2	0.1	0.2	11.8	0.7	4.0	5.1
	屋久島	66.9	3.6	0.1	0.3	3.9	0.6	1.7	3.4
	南薩	14.3	4.7	0.6	0.6	3.4	0.0	1.9	2.6
	西薩	5.0		1.5	0.0	2.6	0.0	1.0	1.8
	平均(全海域)	37.6	4.3	0.4	0.4	4.5	0.3	2.0	4.5
モジャコ平均全長(mm)	大隅	46.1		57.5	84.9	41.3	20.5	51.0	45.5
	種子島		54.7	47.5	27.0	27.1	41.3	39.5	42.6
	屋久島	34.3	66.5	41.5	62.4	34.7	39.4	48.9	47.5
	南薩	42.0	47.1	44.3	42.2	32.5	59.0	45.0	41.1
	西薩	24.5		38.4		37.4		37.9	38.4
	平均(全海域)	36.8	60.2	41.1	58.8	33.9	39.8	46.8	45.2
定期船観測による各海 域の3月上旬平均水温 (℃)	黒潮流域	23.0	23.8	22.4	22.5	22.4	21.9	22.6	22.5
	薩南海域	21.0	19.3	18.2	19.2	19.2	18.1	18.8	19.5
	西薩海域	18.3	17.3	16.8	16.0	17.3	15.6	16.6	17.2

※3 空欄は流れ藻を採取できなかった又はモジャコが付着していなかったことによる欠測。

※4 流れ藻視認個数, モジャコ付着尾数及び平均全長の平年値は, 平成22年から31年までの平均値。

※5 各海域平均水温の平年値は, 昭和56年から平成22年までの平均値。

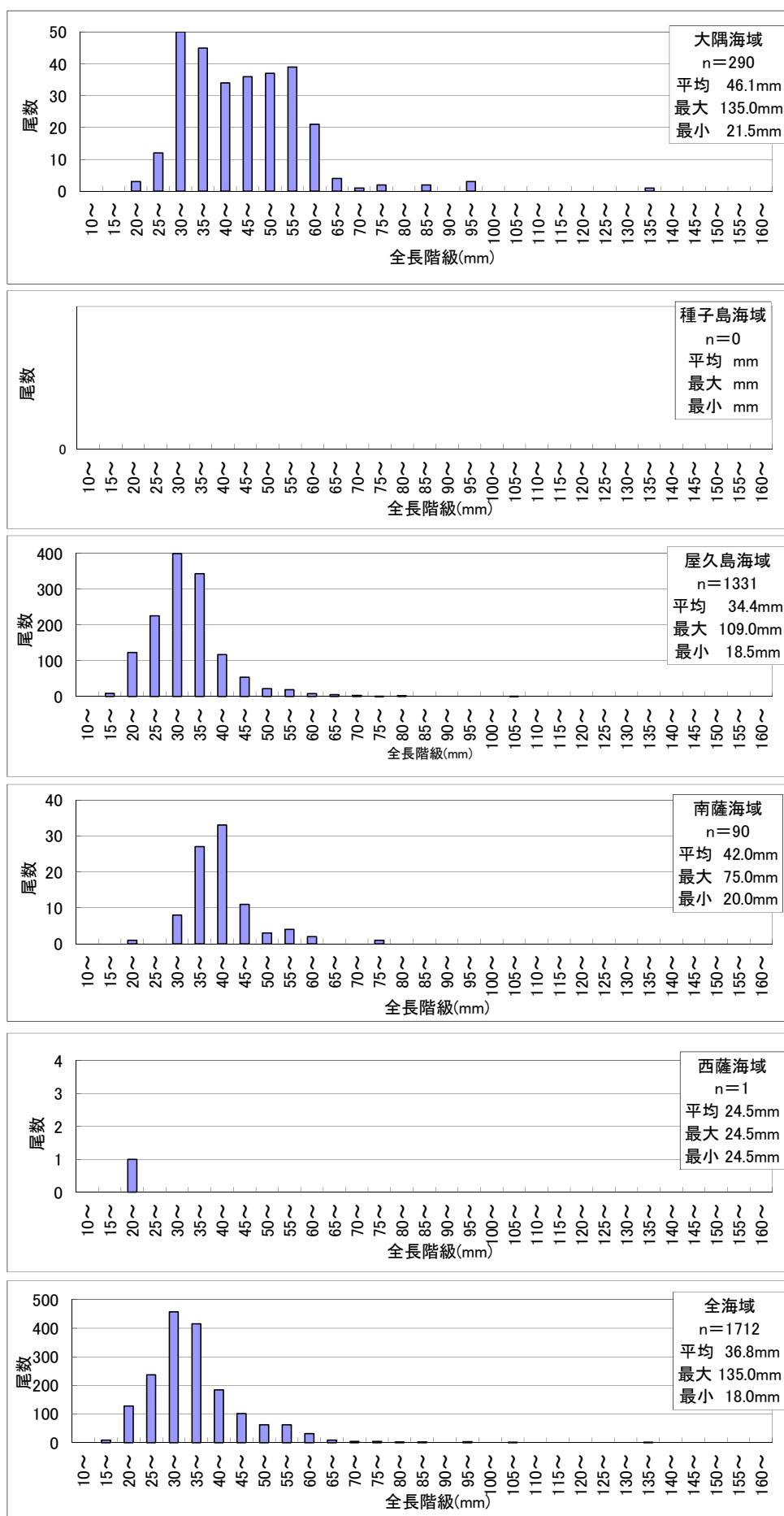
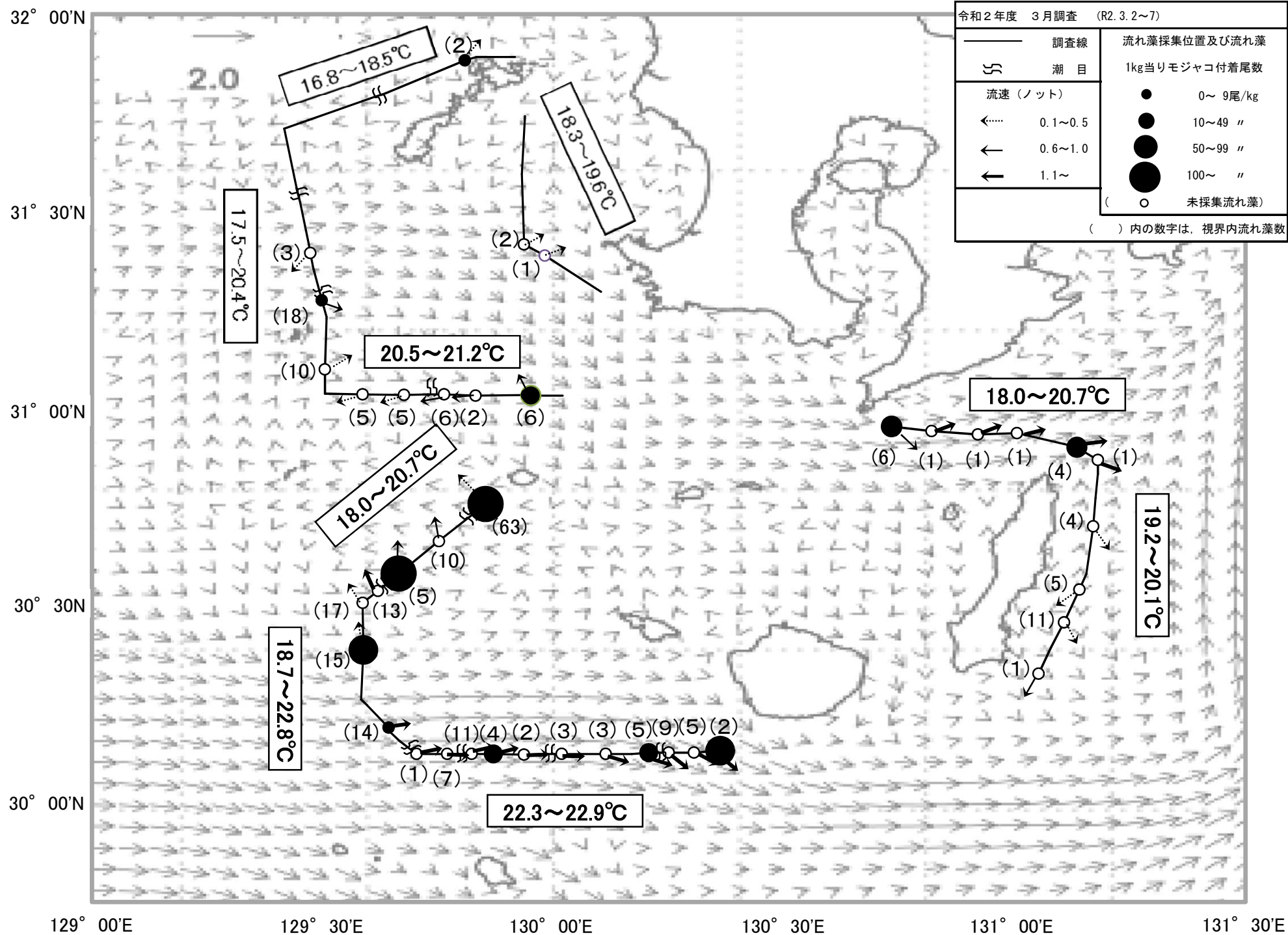


図1 採捕したモジャコの海域別全長組成(令和2年3月調査)



(海流は、鹿児島大学工学部発表の令和2年3月7日09:00の海流図(DR_E_FORE)による)